



特集 テーマ

子どもの権利ってなんだろう？

令和4年2月発行（昭和51年12月1日発行）

権利ってなあに？

「権利」は、英語で「Right（ライト）」

大人も子どもも、みんなが持っている「あたりまえ」に認められているもの、「正しい」ことです。

だれもが持っている人権

すべての人は、生まれた時から「かけがえのない価値を持ったひとりの人間」として大切にされます。これが、「人権」といわれるものです。

自分らしくしあわせに生きる権利

「自分のやりたいことを自由に決めることができる」「自分がいやだと思うことをさせない」ということです。

そのことが、ほかの人から奪われたり、傷つけられたりすることを防ぐために、法律や条約という約束事で守られています。



子どもの権利条約を知ろう！

子どもの権利条約を知ろう！

子どもの権利条約は、地球上のすべての子どもたちが、一人の人間として大切に扱われながら、自分らしく生き、大人にむけて成長していくために、世界の国々が話しあい、つくられた約束事＝条約です。

子どもは、みんな平等

子どもは、自分や家族の人種、皮膚の色、性別、宗教、考え方や地位などで差別されることはありません。すべての子どもはみんな平等に、この条約に定められた権利を持っています。



あなたと、友だちみんなにとって大切なことが書いてあります。

子どもの権利条約

見渡してみると、災害や戦争に巻き込まれたり、家族や住家をなくしたり、学校に通えなかったり、さまざまな差別を受けたり、楽しい暮らしに苦しんでいたり、いじめられたり、幸せに生きることが大変な子どもたちがたくさんいます。

子どもの権利条約は、そんな子どもたちをはじめ、世界中の子どもたちの強い味方です！

子どもの権利条約

●どんな約束が書かれているの？●

子どもの権利条約は、子どもが自分らしく、のびのびと成長していくために大切にしてほしいものを表すと、大きく4つあります。

生きる権利

命が守られること
食べたり、眠ったり、病気をやけがをしたら治療を受けられることなど



守られる権利

いじめや暴力で、心も体も傷つけないように守られること
誰かに嫌な思いをさせられたりしないことなど



育つ権利

遊んだり、勉強したり、休んだりできることなど
成長できることなど



参加する権利

自由に意見を言ったり、聞いてもらえること
団体をつくることなど



資料提供：公益財団法人日本ユニセフ協会 <https://www.unicef.or.jp>

考えてみよう！ 次の場面は、どんな権利と結びつてしょうか？

場面

子どもが持っている権利

- 誰かにいやなことをされたらまわりの大人に相談すること → **A** 助けを求めること
- ピアノが好きだから練習してもっと上手になること → **I** 仲間はずれや差別をしないこと
- 友だちとサッカーやゲームをして楽しく遊ぶこと → **U** 休んだり、遊んだりすること
- 文化祭の発表でやりたい劇を希望すること → **E** 得意な事、やりたい事をのびし、成長すること
- 同級生を無視したり、仲間はずれにしたりしないこと → **O** 思いや気持ちを伝えること
- 授業中にさわいで、ほかの人の勉強を邪魔しないこと → **K** 自分だけでなく相手の気持ちも大切にすること

●「考えてみよう」の結びつき ①=A、②=I、③=U、④=E、⑤=O、⑥=K

つらいときは、SOSを出していいんだよ

どなられたり、たたかれたりしている
いじめられている仲間はずれにされている
今の自分の状況をなんとかしたい

気軽に電話してね！

18歳までの子どもがかけられる「子ども専用の電話」
チャイルドライン
フリーダイヤル **0120-99-7777**

みんなにカードがほしいよ、フリーダイヤルでかけてね！
0120-99-7777

★ちょっと言いにくいことでも、名前は言わなくていいので安心して話してください。
★お説教はしません。どんなことでも、いっしょに考えます。

長野県子ども支援センター 子ども専用ダイヤル(無料) **0800-800-8035**
友だちのこと、家族のこと、どんなことでもなやんだときは、話を聞かせてください。秘密は必ず守ります。
月曜日～土曜日 午前10時～午後6時(日曜日・祝日・年末年始は休み)
メールで相談する……アドレス kodomo-shien@pref.nagano.lg.jp
メールでのご相談は返信にお時間をいただく場合があります。

各校のボランティア・地域活動の紹介

諏訪市立 豊田小学校

私たちの学校では、こんな活動をしています。

各校のボランティア・地域活動の紹介

中野市立 平野小学校

みんなに届け！ ぼくらの笑顔

「くらしの中の小さな幸せ」元気いっぱい届けたい！



豊田小学校には、花が咲いているような笑顔という意味の「咲顔」という言葉があります。私たち3年2組は、総合的な学習の時間に「たくさんの咲顔を届けたい」という願いをもち、どんな活動ができるか話し合いました。きれいな花を見る時は、誰もがうれしい気持ちになるのではないかと考え、花を育てることにしました。早速、理科の先生からマリーゴールドの種を譲っていただき、育て方を調べて植えました。毎日かかさず草取りや水やりを頑

張り、夏休み明けには交番と公民館に「メッセージミニ看板」をつけたプラントを届けました。水やりを続けていると、館長さんと警察の方が「公民館に来た人が、長い間咲いているお花を見て喜んでいよ」とか「近くを通る人が、きれいなお花を楽しんでいるよ」と教えていただきました。私たちの育てた花が、たくさんの人を笑顔にしていることがうれしくて、私たちも花に負けないうる笑顔になりました。これからも豊田の地域に「咲顔」が増えることを願って、活動を続けていきたいです。

地域の未来を話そう！ 創ろう！

みんなにやさしい学校・地域をめざして ～市長との懇談～



平野小学校は、中野市西部の商業地域の中に建つ学校です。私たちは中野市がもっと住みやすい地域になることを願い、SDGsの学習をしました。その中で、6年生が市長・副市長と懇談する機会をいただき、クラスごと地域の未来について懇談しました。1組は、安心して登下校できる通学路にするために「点字ブロックや歩道橋の修理、街灯を増やすことについて」、2組は、環境に良い中野市をめざして「ポイ捨て防止リサイクルボックスの設置やポイントを日用品と交換できるシステムについて」、3組は、人にやさし

い平野小学校にするために「埋め込み式LED照明への交換や木製の机・椅子の利用について」、それぞれアイデアを発表しました。私たちの声を直接市長に届けることで、自分たちが未来のためにできることを真剣に考え、節電・節水・ごみの分別など、すぐにもできることに積極的に取り組んでいきたいと改めて思いました。そして、「未来を創っていくのは自分たちだ！」と強く意識するようになりました。